

4月に入り新学期が始まりました。春は健康診断のシーズンです。学校で行われる健康診断にはさまざまな項目があり

尿タンパクや尿潜血で

すと、尿潜血は陽性になります。腎臓の病気は自覚症状の乏しいものが多い、尿検査の実施により早期治療に役立っています。糖尿病は主に糖尿病のスクリーニング検査として行われています。インスリンが減少して血糖値が上昇すると、腎臓での糖の処理能力が限度を超えて尿中に糖が出現し、尿糖が陽性になります。糖尿病は生活習慣病の2型

尿糖は主に糖尿病のスクリーニング検査として

導入により早期に発見できるようにになりました。

尿は健康状態をみるシグナルの宝庫です。尿検査によってさまざまな病

ささまざまな項目があり

県立看護大学 臨床看護学領域 小児看護学 助手 高橋

祥子

また、セルフチェックで

気が無症状の段階で発見されており、早期治療に成果をあげています。検査で異常を指摘されたら、ご自身で異常を感じ

ますが、今回は病気の早期発見に重要な「尿検査」についてお話しします。

おしっこで分かる病気

なじみのある尿検査で

は、腎臓や尿管の異常を調べることでできます。

クリーニン検査として

尿の異常に気づくこともできます。例えば、排尿

たら、必ず受診しましょう。最近の研究では、線

すが、一体何を調べているのかご存知ですか？

腎臓に異常があると多量のタンパクが尿中に漏れ

リンが減少して血糖値が

時に痛みが伴う、尿臭が

虫ががん患者の尿のにおいに反応することが明らかに

学校検尿では主に、尿タンパク、尿潜血、尿糖の

出でしまい、尿タンパク

の処理能力が限度を超えて尿中に糖が出現し、尿

強い、尿が白く濁る場合は膀胱炎が疑われます。

かにになりました。この診断技術が確立し、広く普

3つの項目が検査されています。結果はそれぞれ腎臓から尿道のどこかに

は陽性になります。また、糖が陽性になります。糖尿

臭いの尿が続くと糖尿病

尿量・回数が増え、甘い

及することを期待しま

陰性(一)、偽陽性(十)、陽

異常があつて出血を起こ

尿病は生活習慣病の2型

の可能性にあります。尿

す。